

企 44—7

土木研究所資料第513号

研究業務資料

土木研究所研究室長會議

昭和44年5月

建設省土木研究所

目 次

1. 昭和43年度海外出張者	1
2. 技 術 指 導	5
3. 各種連絡協議会および委員会活動	13
4. 刊 行 物	27
5. 所報原稿提出予定	33
6. 研究室保管の映画・スライド	37
7. 昭和43年度物品購入	43
8. 昭和43年度請負工事および業務委託実施一覧	47

昭和43年度海外出張者

昭和43年度 海外出張者一覧表

氏 名	官 職	用 務	用 務 地	期 間	費用負担先
市 原 薫	道 路 部 長	優潤路面のすべり抵抗と安全に関する国際研究会及び道路事業視察	ド イ ツ ス イ ス イ タ リ ー	43年 6月 3日 13日間 43年 6月15日	日本道路協会
飯 島 尙	舗 装 研 究 室 研 究 員	コンクリート舗装の改善に関する研究	ド イ ツ (ドイツ国立道 路研究所)	43年 8月 7日 58日間 44年10月 3日	ドイツ大学交換 奉 仕 会 科 学 技 術 庁 (パートギヤラ ンティ研究員)
大久保 忠 良	構 造 研 究 室 長	軽量構造鋼床版橋の表面舗装に関するシン ポジウム及び第8回国際橋梁構造会議総会 出席	ア メ リ カ	43年 9月 6日 15日間 43年 9月20日	日本道路協会
橋 本 宏	海 岸 研 究 室 研 究 員	海岸浸蝕防止に関する研究	イ ギ リ ス (英国水理研究所)	43年10月11日 365日間 44年10月10日	科 学 技 術 庁 (長期在学研究員)
福 岡 正 巳	所 長	天然資源の開発利用に関する日米会議第4 回本会議出席及びこれに伴う各施設の視察 並びに打ち合せ会議	ア メ リ カ	43年10月16日 19日間 43年11月 3日	建 設 省

氏 名	官 職	用 務	用 務 地	期 間	費用負担先
飯 田 隆 一	ダム構造 研究室長	岩盤力学シンポジウム出席及びダム視察	ス ペ イ ン	43年10月20日 } 11日間 43年10月30日	科学技術庁 (国際研究会)
藤 田 寿 雄	地すべり研究室 研 究 員	地すべり運動の土質力学的研究	スウェーデン (スウェーデン王 立土質研究所)	43年10月26日 } 365日間 44年10月25日	科学技術庁 (長期在外研究員)
河 野 宏	舗装研究室 研 究 員	アスファルト舗装の設計施工技術の改善に 関する試験調査 試験道路における試験研究	フ ラ ン ス	43年11月 1日 } 365日間 44年10月30日	フランス政府 科学技術庁 (パートギラン テイ研究員)
安 江 朝 光	地 質 研 究 室 研 究 員	軟岩の破壊に関する力学的研究	ア メ リ カ (カリフォルニ ア大学)	43年11月 6日 } 365日間 44年11月 5日	科学技術庁 (長期在学研究員)
柏 谷 衛	下水道研究室長	天然資源の開発利用に関する日米会議第4 回日本合同水質汚濁専門部会	ア メ リ カ	43年11月10日 } 16日間 43年11月25日	日本下水道協会
吉 岡 昭 雄	道路研究室長	Highway Research Board (米国道路調査 研究所) 第48回年次総会出席及び交通制 御調査	ア メ リ カ	44年 1月10日 } 16日間 44年 1月25日	日本道路協会

大久保 忠 良	構造研究室長	中近東アフリカ技術協力計画によるトルコ 国ボスフォラス架橋プロジェクトの第2回 BOARD OF CONSUL TANTS 会議	イ ギ リ ス ト ル コ	44年 3月18日 15日間 44年 4月 2日	海外技術協力 事業団
溝 口 忠	道路研究室 研 究 員	高速道路の安全に関する研究 道路の走行性向上に関する試験調査	ア メ リ カ (ペンシルバニ ア州立大学)	44年 3月22日 548日間 45年 3月 4日	ペンシルバニア 州立大学 科学技術庁 (パートギヤラ ンティ研究員)

技 術 指 導

昭和43年度技術指導總括一覽表(43.4.1~44.3.31)

研究室等	建設省	地方公共団体等	合計	備考
所 長	1	0	1	
地質化学部長	2	11	13	
地質研究室	1	9	10	
化学研究室	0	0	0	
コンクリート研究室	0	0	0	
赤羽支所長	2	0	2	
河川部長	0	0	0	
河川研究室	2	0	2	
水文研究室	2	0	2	
砂防研究室	0	0	0	
地すべり研究室	1	14	15	
海岸研究室	0	1	1	
下水道研究室	0	2	2	
ダム部長	1	2	3	
ダム構造研究室	2	14	16	
ダム水理研究室	0	0	0	
千葉支所長	1	3	4	
道路部長	0	0	0	
道路研究室	3	0	3	
舗装研究室	0	0	0	
トンネル研究室	4	3	7	
機械施工部長	0	0	0	
機械研究室	2	0	2	
施工研究室	0	2	2	
土質研究室	0	1	1	
構造橋梁部長	0	0	0	
基礎研究室	5	6	11	
振動研究室	2	1	3	
構造研究室	0	5	5	
橋梁研究室	1	2	3	
新潟試験所	2	2	4	
鹿島試験所	0	0	0	
篠崎試験所	0	0	0	
計	34	78	112	

技 術 指 導 一 覧 表 (4 3 . 4 . 1 ~ 4 4 . 3 . 3 1)

本 所				
(所 長)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派 遣 者
1	近畿地建	木津尻無川橋の基礎について	4月25日~ 4月26日	福 岡 正 巳
< 地質化学部 > (部 長)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派 遣 者
1	中部地建	矢作ダム地質について	4月12日~ 4月14日	芥 川 真 知
2	水資源 開発公団	早明浦ダムの施工について	5月28日~ 5月31日	"
3	新潟県	加治川、胎内川、鯖石川ダムサイ ト調査	7月 3日~ 7月 6日	"
4	栃木県	塩原治水ダムの地質について	7月26日~ 7月27日	"
5	香川県	殿川ダムサイトの下流測移設について	7月16日~ 7月19日	"
6	山形県	蔵王ダム地質について	7月29日~ 7月31日	"
7	水資源 開発公団	早明浦ダム工事ダムサイトの地質について	8月20日~ 8月23日	"
8	山梨県	大門治水ダムの地質調査について	10月 3日~10月 4日	"
9	中部地建	関トンネル護工調査及び検討	11月 1日~11月 3日	"
10	新潟県	鯖台川、下条川、加治川ダム地質 について	11月27日~11月30日	"
11	水資源 開発公団	早明浦ダムにおける岩盤調査	12月 3日~12月 5日	"
12	千葉県	小櫃川および養老川総合開発について	1月23日~ 1月24日	"
13	水資源 開発公団	寺内、牟田ダム計画地点地質調査	3月12日~ 3月16日	"
(地質研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派 遣 者
1	北海道 開発局	豊平峡、漁川ダムの地質調査	5月12日~ 5月19日	岡 本 隆

番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
2	秋田県	旭川治水ダムの地質について	5月29日～6月1日	岡本 隆
3	関東地建	川俣ダム基礎処理について	5月30日～5月31日	飯島 弘
4	岩手県	衣川地区2号ダム地質調査	6月16日～6月18日	〃
5	長野県	奈良井ダム地点の地質について	7月15日～7月18日	岡本 隆一
6	長野県	湯川治水ダム地質調査	8月1日～8月2日	飯島 弘
7	福岡県	山神治水ダム等の地質について	8月26日～9月1日	岡本 隆一
8	山口県	阿武川ダムの岩盤、地質について	10月2日～10月5日	〃
9	秋田県	旭川治水ダムの地質について	10月30日～11月2日	〃
10	長崎県	神浦、大瀬町、猫山、ダム地質調査	12月15日～12月20日	〃
赤	羽 支 所			

(支 所 長)

番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	北陸地建	黒又川第2ダムについて	5月27日～5月29日	石井文雄
2	四国地建	穴内川ダムの現地調査	9月23日～9月25日	〃

<河川部> (河川研究室)

番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	中国地建	旭川分合流調査	5月22日～5月24日	土屋昭彦
2	北陸地建	流砂量調査	12月4日～12月6日	土屋昭彦 星 畑 國 松

(水文研究室)

番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	中国地建	広域利水調査について	7月8日～7月11日	青木 佑久
2	〃	〃	7月31日～8月3日	松岡 啓治

(地すべり研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	香川県	設川ダムの地質について	4月7日～4月11日	渡 正 亮
2	"	設川ダムの地すべり調査	5月6日～5月10日	中 村 浩 之
3	京都府	宇治瀬出縁の山崩れについて	5月6日～5月7日	渡 正 亮
4	東北地建	山形県最上郡大蔵村地すべりについて	6月3日～6月4日	"
5	香川県	設川ダム地すべり調査	7月16日～7月19日	"
6	北海道	知内村小谷石等地すべり調査 解析	8月19日～8月24日	"
7	都京都	区民施設敷地の地すべりについて	8月28日～8月29日	"
8	秋田県	皆瀬ダム築場地すべりについて	9月18日～9月21日	"
9	愛知県	南知多道路の地すべりについて	10月21日～10月22日	渡 正 亮 酒 井 淳 行
10	山口県	掛淵地すべりについて	10月23日～10月26日	渡 正 亮
11	長崎県	神浦ダムの地質調査	12月16日～12月18日	"
12	東京都	施設候補地の地すべりについて	12月26日～12月27日	"
13	水資源 公 団	高山ダム建設工事地すべり調査	1月13日～1月14日	"
14	山口県	掛淵地すべり調査、工法について	3月23日～3月26日	"
15	埼玉県	秩父郡大滝村地すべり調査	3月27日～3月28日	"
(海岸研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	静岡県	一般国道135線の海岸構造物について	6月14日～6月15日	富 永 正 照
(下水道研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	姫路市	高木四郷地区皮革排水処理について	5月16日～5月18日	柏 谷 衛 安 中 徳 二
2	東大阪市	枚岡処理場について	8月28日～8月30日	柏 谷 衛

＜ダム部＞（部長）				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	山口県	黒枕川ダムの断層処理、骨材について	4月17日～ 4月21日	伊 東 茂 富
2	長野県	裾花川ダム工事現地調査	4月30日～ 5月 1日	＃
3	北海道建設	黒又川第2ダム構造その他安全性調査	5月27日～ 5月29日	＃
（ダム構造研究室）				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	中部地建	兵作ダムの地質について	4月12日～ 4月14日	柴 田 功
2	山口県	阿武川ダムサイトの岩盤について	4月17日～ 4月21日	飯 田 隆 一
3	長野県	裾花川ダム工事現地調査	4月30日～ 5月 1日	柴 田 功
4	水資源開発公社	青蓮寺ダム本体施工について	5月 8日～ 5月19日	＃
5	北海道開発局	豊平狭漁川ダムの堤体構造解析	5月12日～ 5月19日	＃
6	北海道建設	黒又川第2ダム構造その他安全性調査	5月27日～ 5月29日	飯 田 隆
7	千葉県	増間ダム建設について	6月 6日～ 6月 7日	＃
8	岩手県	衣川地区2号ダムの構造及び地質調査	6月16日～ 6月18日	柴 田 功
9	長野県	奈良井ダム構造について	7月15日～ 7月18日	＃
10	香川県	殿川ダムサイトの下流移設について	7月16日～ 7月19日	飯 田 隆 一
11	富山県	白岩川ダムの基礎構造について	7月22日～ 7月25日	柴 田 功
12	山形県	蔵王ダム構造について	7月29日～ 7月31日	飯 田 隆 一
13	北海道開発局	豊平狭ダム建設について	10月20日～10月25日	柴・田 功 藤 孝 三
14	新潟県	加治川、下条川、鯖石川ダムの構造について	11月27日～11月30日	柴 田 功
15	山口県	阿武川ダムの構造、型式について	12月15日～12月18日	飯 田 隆 一
16	千葉県	小櫃川および養老川総合開発計画について	1月23日～ 1月24日	柴 田 功

千葉支所				
(支所長)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	神戸市	六甲山ずい道及び鉄柵山ずい道換気施設について	4月17日～ 4月18日	伊次山 四 郎
2	中部地建	関トンネル覆工調査及び検討	11月 1日～11月 3日	"
3	水資源開発公社	香川用水建設事業にともなう導水トンネルについて	11月29日～12月 1日	"
4	日本道路公団	東名高速道路について	1月23日～ 1月24日	"
(道路研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	中部地建	すべり摩擦測定	6月12日～ 6月15日	溝口 忠之 小野田 光
2	九州地建	"	6月17日～ 6月18日	"
3	四国地建	寺村隧道音響測定	3月24日～ 3月28日 3月24日～ 3月30日	吉岡昭雄 金泉昭 (外4名)
(トンネル研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	神戸市	六甲山ずい道及び鉄柵山ずい道換気施設について	4月17日～ 4月18日	伊達 英 夫
2	東北地建	一般国道112号計画調査等のためトンネル現地調査	6月17日～ 6月20日	村上 良 丸
3	近畿地建	真名川ダムの雪崩調査	8月26日～ 8月28日	村上 良丸 下村 忠一
4	中部地建	関トンネル覆工調査及び検討	11月 1日～11月 3日	村上 良 丸
5	足利市	東山トンネルに関する偏圧ポータルの位置について	11月13日	"
6	北陸地建	くりからトンネル換気装置効果実験及びその運用について	12月 3日～12月 6日	伊達 英 夫 荒井 忠 男
7	"	人工なだれ実験について	3月 3日～ 3月 5日	下村 忠 一
<機械施工部> (機械研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	中部地建	路面すべり摩擦について	6月12日～ 6月15日	磯部 金 治

番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
2	北陸地建	高速ロータリー車性能試験	2月12日～ 2月22日	吉 崎 博 伊 藤 肇 森 誠
			2月10日～ 2月22日	岩 崎 政 明
(施工研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	静岡市	駿府城址石垣の保存について	7月25日	伊勢田 哲 也
2	新東京国際空港公社	土取場予定の現地調査	8月19日	伊勢田 哲 也 渡 部 務
(土質研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	新東京国際空港公社	土取場予定の現地調査	8月19日	山 村.和 也
<構造橋梁部> (基礎研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣期間	派遣者
1	日本道路公団	刀水橋振動実験	4月 5日～ 4月 7日	和 泉 孝 位
2	近畿地建	木津尻無川橋の基礎について	4月25日～ 4月26日	吉 田 巖
3	東北地建	飯野川可動堰基礎について	6月 2日～ 6月 4日	"
4	長野県	前川渡大橋の基礎について	6月17日～ 6月18日	"
5	近畿地建	ロータリーフオイルサンプラーによる試料採取について	6月17日～ 6月19日	吉 中 竜之進
6	静岡県	コンクリートパイル打込みによる振動試験	8月12日～ 8月16日	足 立 義 雄 和 泉 孝 位
7	北陸地建	関屋分水路可動堰基礎について	8月17日～ 8月19日	足 立 義 雄
8	宮城県	釜谷大橋架換に伴う土質調査	9月12日～ 9月14日	桑 原 啓 三
9	日本道路公団	浦戸大橋境水道大橋の基礎について	10月25日～10月28日	吉 田 巖
10	関東地建	長野大橋の振動実験	10月23日～10月25日	足 立 義 雄
11	山梨県	河口湖大橋の基礎工法について	3月15日～ 3月16日	吉 田 巖

(振動研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派遣 者
1	青森県	長泥橋下部工施工にともなう振動試験	7月13日～ 7月16日 7月20日～ 7月23日	小山田 欣 裕 若 林 進
2	北陸地建	関屋分水路可動堰基礎杭の振動試験	8月17日～ 8月21日	岩 崎 敏 男 (外5名)
3	東北地建	鳥井大橋の振動試験について	10月24日～10月25日	小山田 欣 裕
(構造研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派遣 者
1	日本道 路公団	崎山橋の橋台土圧測定	4月 5日～ 4月 7日	若 林 進 藤 俊 三
2	"	酒匂川橋振動実験	7月15日 7月19日～ 7月20日	成 田 信 之 奥 繁 美
3	北海道 開発局	石狩河口橋立地条件気象関係調査	8月 4日～ 8月11日	成 田 信 之 榎 波 義 幸
4	日本道 路公団	若戸大橋の計器による観測について	9月23日～ 9月26日	成 田 信 之
5	北海道 開発局	石狩河口橋立地条件気象関係調査	12月 8日～12月13日	榎 波 義 幸
(橋梁研究室)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派遣 者
1	千葉県	水郷大橋上部工補修について	9月3日	国 広 哲 男 藤 原 稔
2	北陸地建	高岡大橋の床版被褥強について	3月 2日～ 3月 4日	太 田 実
3	埼玉県	県道大宮～栗橋線における合成桁 の床版クラックについて	3月18日	国 広 哲 男 太 田 実
(新潟試験所)				
番号	依頼先	内 容	派遣 期 間	派遣 者
1	北陸地建	一般国道117号及び252号に おける地沈調査	7月15日～ 7月16日	高 野 秀 夫
2	新潟県	磐石川総合開発ダムに伴う貯水池 周辺の河岸、山脚の安定について	7月 9日～ 7月10日	"
3	高知県	地沈地区の砂防、地沈について	8月18日～ 8月23日	"
4	北陸地建	基之助谷における地沈の地下水検 査	11月 5日～11月 7日	天 野 宣 武

各種連絡協議会および委員会活動

土木研究所には研究の円滑および能率をはかるため下記協議会、委員会、連絡会があります。

委員会活動

(1) 天然資源の開発利用に関する日米会議

——耐風・耐震構造専門部会——

(2) 協議会

耐震研究連絡協議会

本州四国連絡架橋調査連絡協議会

有明海締切堤防調査連絡協議会

東京湾環状道路調査連絡協議会

(3) 委員会

土木研究所研究発表会運営委員会

図書運営委員会

施設整備委員会

土木技術資料編集委員会

電算運営委員会

(4) 連絡会

部長連絡会

研究調整連絡会

土木構造物標準化連絡会

各種連絡協議会および委員会活動

協議会または 委員会の名称	会 議 構 成 員			目 的
	主 査 または 委 員 長	幹 事	構 成 員	
1.天然資源の開 発利用に關す る日米會議 ——耐風、耐震 構造専門部会——	福岡 正巳	大久保忠良	伊吹山四郎 多田 安夫 栗林 栄一 成田 信之 有賀 世治 (国立防災科 学技術センタ ー) 北岡 龍海 (気象庁気象 研究所) 広野 卓蔵 (同 上) 林 聰 (港湾技術研 究所) 久田 俊彦 (建築研究所) 大崎 順彦 (同 上) 表 俊一郎 (同 上) 牧野 稔 (同 上)	
2.耐震研究連絡 協議会	構造橋梁部長	構造研究 室 長	機械施工部長 河 川 部 長 施工研究室長 土質研究室長 基礎研究室長 振動研究室長	所内の土木関 係構造物に關 する耐震工学 上の調査研究 につき、関係 研究室間の総 合的連絡、調 整を行なうも

昭和43年度経過報告	昭和44年度実施計画
43. 5. 8 (第4回) 1) 事務担当者会議の報告 2) フランク氏の手紙に対する返答について (米国パネルメンバーについて) 3) 交換保存資料のとりまとめについて 43. 7. 24 (第5回) 1) 共同研究・情報交換等課題アンケートについて 2) 十勝沖地震被害報告書 3) 今後の活動方針 43. 9. 26 (第6回) 1) 課題および主査の決定 2) 日米部会長会談の対処方針 3) 今後の活動方針 43. 11. 27 (第7回) 1) 第4回日米天然本会議報告 2) 米側耐風耐震構造専門部会との会談報告 3) 課題別情報交換活動の準備について 4) 第1回合同専門部会の準備について 43. 12. 20 (第8回) 1) 第1回合同部会の準備について	開催予定：第1回合同専門部会を日本において4月21日から30日まで開催(米側出席者10名)、原則として国内部会は2ヶ月に1回開催 協議事項：共同研究、情報交換活動について 米国で開催される第2回合同専門部会について
43. 9. 12 (第2回) 1) 振動検定台等懸案事項、その後の措置 2) えびの地震調査結果の報告 3) 十勝沖地震調査結果の報告と今後のとりまとめ方針 4) 地中地震(松代)の観測状況 43. 10. 16 (第3回) 1) 地中地震観測結果の報告	開催予定：第4回(5月中旬) 第5回(9月)、第6回(45年1月) 協議する事項：強震観測の進め方、設計指針の収集、動土質力学に関する研究と利用、その他

協議会または 委員会の名称	会 議 構 成 員			目 的
	主 査 または 委 員 長	幹 事	構 成 員	
				のである。
3.本州四国連絡 架橋調査連絡 協議会	構造橋梁部長	基礎研究 部 長	千葉支所長 地質化学部長 機械施工部長 地質研究室長 化学研究室長 コンクリート 研究室長 舗装研究室長 機械研究室長 構造研究室長 橋梁研究室長 振動研究室長	所内における 本調査の技術 的諸問題の調 査、試験の総 合調整、討議 報告等に関す る検討を行な うものである。
4.有明海締切堤 防調査連絡協 議会	河 川 部 長	海岸研究 室 長	千葉支所長 地質化学部長 機械施工部長 構造橋梁部長 河川研究室長 水文研究室長 地質研究室長 コンクリート 研究室長 化学研究室長 施工研究室長 土質研究室長 機械研究室長 基礎研究室長 振動研究室長 構造研究室長 鹿島試験所長	所内における 本調査の技術 的諸問題の調 査、試験の総 合調整、討議 報告等に関す る検討を行な うものである。

昭和43年度経過報告	昭和44年度実施計画
2) 動土質力学の現状報告 3) 港湾技研との談話会開催について 4) 日米会議(耐風耐震)合同部会について 5) 米国における耐震研究の事情	
43. 9. 10 (第5回) 1) 前回議事録の確認 2) 43年度中間報告 3) 道路公団との打合せ会結果報告 4) ケーブル架設分科会の設置 (これらは協議会で検討の結果とりやめ) 5) その他 (1) 大規模特殊事業計画調査と本・四調査との関係	開催予定: 第6回5月頃、担当官会議の前に予定。この他本年度は、公団引継ぎの問題もあるので必要に応じ開催。本会議が都合がわるいときは関係者のみでも開催する。 協議事項: (1) 建設省でまとめ方について (2) 道路公団に引継ぐ調査成果(今後調査すべき事項(案)もふくむ。) (3) 公団との受託計画をふくむ今後の運営方針。
43. 4. 24 (第1回) 1) 縮切堤防の標準断面の検討 (a) 均一堤断面(案)の説明 (b) 混成型断面(案)の説明 (c) 各断面案の工費の比較 2) 今後の方針 (a) 8月頃、次の協議会を開く。 (b) 工費の積算をさらにつめる。 43. 9. 19 (第2回) 1) 縮切堤防調査中間報告 (a) 縮切後の淡水化の過程 (b) 設計波の検討、堤体の透水性、縮切時の潮流変化の計算 (c) 現場揚水試験、せん断試験および安定計算 (d) 耐震性調査 (e) 築堤材料試験	

協議会または 委員会の名称	会 議 構 成 員			目 的
	主 査 委員	主 査 委員	構 成 員	
5.東京湾環状道 路調査連絡協 議会	千葉支所長	トンネル 研究室長	地質化学部長 道路部長 構造橋梁部長 海岸研究室長 地質研究室長 構造研究室長 基礎研究室長 橋梁研究室長	所内における 本調査の技術 的諸問題の調 査、試験の総 合調整、討議 報告等に関す る検討を行な うものである。

昭和43年度経過報告	昭和44年度実施計画
(f) 締切堤工事費の積算 2) 今後の方針 (a) 最終報告書の目次(案)の説明 (b) 小委員会をつくり最終断面案をつくる。 (c) 12月半頃までに取りまとめを行なう。 小委員会 12月18日、21日、44年1月14日、2月6日、 2月14日 以上5回小委員会を開き、最終断面案を検討した。 44. 3. 4 (第3回) 1) 調査報告 (a) 標準断面の説明 (b) 淡水化の過程 (c) 安定性 (d) 耐震性 (e) 施工、最終締切 2) とりまとめ 上記の報告をまとめて報告書を印刷する。	
43. 11. 14 (第2回) 1) ロータリホールサンプリング結果の報告 2) 振動式簡易水中ボーリング結果の報告 3) 軟弱泥層分布地域での音波検査報告 4) 温度検層報告 5) 土の動的挙動ならびに動的試験方法の検討 6) BARTトンネルの耐震設計の紹介 7) 東京港第1水路部門沈埋トンネルの概略設計報告 8) ニッ小屋トンネルにおける裏込試験および地山透水試験報告 9) 注入材料の文献調査報告	開催予定：第3回(6月中旬) 第4回(10月)、第5回 (45年2月) 協議する事項：土質力学の 進め方、沈埋トンネルの設計 指針の収集、水中強震観測の 方法、沈埋トンネル施工法に 関する検討、その他

協議会または 委員会の名称	会 議 構 成 員			目 的
	主 査 または 委 員 長	幹 事	構 成 員	
6. 土質試験装置 連絡協議会	機械施工部長	土質研究 室 長	地すべり研究 室 長 機械研究室長 施工研究室長 基礎研究室長 振動研究室長 新潟試験所長 企 画 室 長 建 設 専 門 官 (高岡) 機械設計係長 南雲主任研究員 佐々木研究員 水 野 " 水 谷 "	より秀れた機能 をもつ土質試験 装置の製作のた め特に重要と考 えられるものに ついて関係研究 室間の総合連絡 をはかり、協議 検討を行なうも のである。
7. 土木研究所研 究発表会運営 委員会	基礎研究室長		村上(下水道) 小林(ダム構 造)、丹(コン クリート)、 藤田(道路) 渡部(施工) 各研究員、岩 松専門官(技 管室)	所内研究発表会 の企画に関する こと。
(44年度委員)	水文研究室長		千田(機械) 成田(構造)	

昭和43年度経過報告	昭和44年度実施計画
	開催予定：原則として2ヶ月に1回開催する。 協議する事項：原則として1件500万円以上の土質試験装置製作について協議する。但し、委員長が特に重要と認めた場合はこのかぎりにあらず。
第5回および第6回土木研究所研究発表会を開催した。 第5回 土木研究所研究発表会 と き 昭和43年4月23日 ところ 都市センター 土木計画学・技術管理室長 中村慶一 —その背景— 土木構造物の地震時応答の推測…… 振動研究室長 栗林栄一 雨天時下水の排除の合理化に関する研究…… 下水道研究室 稲場紀久雄 スキージャンプ式減勢工のデフレクターの効果について……篠崎試験所 山本邦一 コンクリートの品質判定に関する一方法について……コンクリート室 上野裕康 アルミニウム合金製ガードレール実験…… 道路研究室 柴田正雄 除雪車の性能について……機械研究室 渡辺勝男 第6回 土木研究所研究発表会 と き 昭和43年10月2日(水)	「災害の防止と安全対策」の大テーマで、昭和44年度土木研究所講演会を開催する。昭和44年度土木研究所講演会 と き 昭和44年4月15日 ところ 東京文化会館 標準設計と安全度…… 技術管理室長 中村慶一 日本各地の地震危険度…… 構造橋梁部 寺島 敦 急傾斜地崩壊の特徴と対策の着眼点…… 地質化学部長 芥川真知 都市河川における災害の傾向——流出と水質について—— 河川部長 川越達雄 コンクリートダムの漏水、撓み等の実測解析と安全管理…… ダム構造研究室長 飯田隆一

協議会または 委員会の名称	会 議 構 成 員			目 的
	主査または 委員 長	幹 事	構 成 員	
			各主任研究員 鈴木（化学） 田村（篠崎） 今田（トンネル）各研究員 吉川専門官 （技管室）	
8.図書運営委員会	企 画 室 長	建設専門 官	大場（化学） 小林（ダム 構造）、安中 （下水道）、 飯島（舗装）、 矢部（土質）、 岩崎（振動） 田村（篠崎） の各研究員、 山崎技官（技 管室）	1）図書の運営 に関すること 2）資料の整備 に関すること 3）文献の収集 に関すること
9.施設整備委員会	企 画 室 長	企画室長 補 佐	地質研究室長 河川研究室長 ダム構造研究 室長 道路研究室長	研究施設整備の 将来計画、及び 企画に関するこ と

昭和43年度経過報告	昭和44年度実施計画
ところ 都市センター 都市開発と国土保全・河川部長 川越達雄 ダム基礎のグラウト特性に関する2・3の考察・ダム水利研究室長 花籠秀輔 ダム群による洪水調節の試算—残流域流出をあわせた洪水追跡—・水文研究室 青木佑久 砂防ダムの堆砂縦断形の変動について…… 砂防研究室 泉 岩男 土中の有機物が土のセメンティング効果に及ぼす影響・化学研究室 大場正男 火山灰質粘土の強度回復と生石灰処理効果に関する実験・施工研究室 金刺敏朗 有限要素法における要素の形状とその特徴について…… ダム構造研究室 小林茂敏 P・C単純T桁橋標準設計上の諸問題…… 技術管理室 工藤真之助 なだれ制御砲の開発・トンネル研究室長 村上良丸	海岸堤防の災害の原因と防止対策・海岸研究室長 富永正照 路面のすべりと走行の安全性 ……道路部長 市原 薫 除雪機械の高速化…… 機械研究室長 田中康之 10月頃、土木研究所研究発表会を開催する。
43. 5. 10 (第8回) 1) 刊行物目録、資料目録整理、貸出規則討議 43. 11. 14 (第9回) 1) 昭和44年度洋雑誌の予約について検討 2) 各所保管図書調査について検討 3) 土木研究所図書利用規定案について検討 43. 12. 25 (第10回) 1) 土木研究所刊行物目録検討 2) 土木研究所図書利用規定検討 44. 2. 26 (第11回) 1) 土木研究所図書利用規定案検討	1) 図書の有効適切利用を計るため各種における図書の整備計画の検討 (1) 駒込に保管してある図書の各支所への管理換について (2) 各所における購入予定図書について 2) 土木研究所刊行資料の分類 3) その他各所における図書の利用上の問題点の検討
1) 委員会開催日一覧 第6回 昭和43年5月31日 第7回 昭和43年10月24日 第8回 昭和43年11月9日 第9回 昭和43年12月13日	実施計画 (1) 土木研究所の各部別長期構想をつくる。 (2) 建物、施設、職員について検討し具体案を作成する。

協議会または 委員会の名称	会 議 構 成 員			目 的
	主 査 また は 委 員 長	幹 事	構 成 員	
			機械研究室長 基礎研究室長 技術管理室専 門官	
10. 土木技術資 料編集委員会	伊東 茂富 (ダム部長)	蒔田 実	柏谷 衛 山村 和也 岩松 幸雄 榮垣 悦夫	土木技術資料を 出版するために土 木研究所の調査 試験研究の成果 を中心に具体的 かつ平易に執筆 された原稿を編 集することを目 的とする。
11. 電算運営委 員会	伊吹山四郎 (千葉支所長)	中村慶一	新井 久 榮垣 悦夫 木下 武雄 藤田 大二 藤本 成 島津 晃臣 富田 努 小池 長春	土木研究所に設 置してある電子 計算機を円滑に 運営することを 目的とする。

昭和43年度経過報告	昭和44年度実施計画
第10回 昭和44年2月25日 2) 活動内容 ① 施設整備計画(1次案)を発行した。 ② 各研究室の施設整備計画を調整し一覧表にまとめた。 ③ 走行試験路の実験計画、構造設計積算、計画図の作成をした。 ④ 各研究室の施設整備計画について実施計画を調査した。 ⑤ 土木研究所の現況について施設の利用状況等を調査した。	(3) 主な施設については積算を行なう。 (4) 年次別施設整備計画を作成する。 (5) 土木研究所の現況調書を作成する。(詳しいもの) (6) 施設整備計画(第2次案)を発行する。
昭和43年1月号(VOL. 10)~12月号出版歴代所長座談会開催	開催日: 毎月の第1回本曜 協議する事項: 昭和44年(VOL. 11)1月号~12月号編集について
43. 6. 19 ① 千葉 270-30の概要 ② 千葉 270-30将来計画 ③ マイクロ回線 ④ データ、レコーダ ⑤ タイプライタ配置 44. 2. 19 ① 43年度の運営実績報告 ② 44年度の運営計画および予算について	開催: 年5回 協議する事項: ① 電子計算機の増強について ② 電子計算組織運営について

刊 行 物

昭和43年度刊行物(43.11~44.3)

1 年度報告書

- { 昭和42年度土木研究所費報告
- { 昭和42年度特別研究促進調整費報告
- 昭和42年度公共団体等委託研究費報告
- { 昭和42年度地方建設局依頼調査試験報告
- { 昭和42年度海岸事業調査費報告

有明海締切堤防調査

2 所 報

135-1 体積変化を伴う直交異方性弾塑性理論とその適用

飯 田 隆 一

135-2 二次元傾斜荷重に対する地盤支持力の計算図表

駒 田 敬 一

3 土木研究所資料

- | | | |
|-----|----------------------------------|-----|
| 418 | 火山灰質粘性土の強度回復と生石灰処理効果に関する一実験 | 施 工 |
| 419 | 3M径ビット削孔試験報告 | 機 械 |
| 420 | コンテナ積載トレーラー荷重検討資料 | 橋 梁 |
| 421 | 衝撃によるガードレール諸性能試験報告書 | 道 路 |
| 422 | 草木ダム堆砂形状の推定計算 | 篠 崎 |
| 423 | 道路橋床版組耐荷力調査報告書一
- 四枚方大橋静的載荷実験 | 橋 梁 |
| 424 | 舗装の維持修繕基準に関する調査研究 | 舗 装 |

4 2 5	網床版舗装の実態調査(第3回)とアスファルト舗装	舗 装
4 2 6	法面保護工に関する資料	土 質
4 2 7	砂槽の上にある剛体の振動	基 礎
4 2 8	遠心力鉄筋コンクリート管埋設実験報告書	土 質
4 2 9	壱平峽ダムの構造設計	ダム構造
4 3 0	土木構造物における強震記録(1968)	振 動
4 3 1	トラクシヨベルの作業能力について	機 械
4 3 2	大口径削孔機械による現地試験	機 械
4 3 3	尾道大橋実験観測報告書	構 造
4 3 4	R I 利用による現場密度・含水量の測定	施 工
4 3 5	雨天時下水の排除の合理化に関する調査報告書 (本論編、資料編)	下 水 道
4 3 6	球磨川豊原地区模型実験報告書(その3)	鹿 島
4 3 7	宇津トンネルにおける膨張性岩石について	地 質
4 3 8	吉野川河道計画に伴う河道安定検討	河 川
4 3 9	トンネル内自動車火災実験報告書(I)	トンネル
4 4 0	久慈川河口水理模型実験報告書1	海 岸
4 4 1	蒲原海岸堤防模型実験報告書	"
4 4 2	有明海締切堤防調査報告書	"
4 4 3	利根川河口堰模型実験報告書	鹿 島
4 4 4	木部川、川島地区河道計画に関する模型実験報告	"
4 4 5	原播海岸護岸堤防模型実験報告書	"
4 4 6	淀川消波工模型実験報告書(その2)	"
4 4 7	本州四国連絡橋用塗料大気曝露試験報告	化 学
4 4 8	非感潮河川の汚濁解析および汚濁予測(第2報)	下 水 道

449	昭和43年度プログラム成果	技 管
450	電算速報第9号	"
451	関門橋の耐風性に関する調査	構 造
452	関門橋の耐風性に関する調査(箱桁補剛吊橋)	"
453	石狩川河口橋の耐風性に関する調査	"
454	六角川河口堰上背水計算	河 川
455	昭和44年度土木研究所講演会講演集	企 画
456	ダウエリング設計法-(矢作ダムTL断層について)	ダム構造
457	超音波目速計による自然性特性の調査(第1報)	構 造
458	箱ヶ瀬橋振動報告書	"
459	吉野川第十せき模型実験報告書	河 川
460	北上大堰(飯野川可動堰)に関する水理検討	河 川
461	地震記録のデジタル数値(その3)	振 動

4 年報(昭和41,42年度版)

昭和44年度出版予定刊行物

1 年度報告

昭和43年度に実施した調査試験研究	(既配)
昭和43年度土木研究所費報告	7月中旬
“ 道路事業調査費	“
“ 河川 “	“
“ 河川総合 “	“
“ 砂防 “	“
“ 海岸 “	“
“ 特別研究促進調整費報告	“
“ 受託研究	“
“ 地方建設局依頼調査試験費報告	“

2 所 報

135-3 路面のすべり抵抗に関する研究(1)	7月下旬
— 一般路面のすべてについて —	

市 原 薫

135号 合本	8月下旬
---------	------

136-1 河川の縦断形状に関する研究	
---------------------	--

土 屋 昭 彦

石 崎 勝 義

6月上旬

3 土木研究所資料

4 6 2	砂利道の損傷比較実験	土 質
4 6 3	緑川ダム余水吐水理模型実験	ダム水理
4 6 4	松原ダム余水吐水理模型実験	"
4 6 5	矢作ダム余水吐副ダム二次減済工水理模型実験	"
4 6 6	神奈川県大涌谷地すべり調査報告書	地すべり
4 6 7	山梨県飯沢町十谷地すべり調査報告書	"
4 6 8	茶白山地すべりにおける地下水検層試験結果報告書	新 潟
4 6 9	鉄筋コンクリートのひびわれ限界とPRO工法	コンクリート
4 7 0	鉄筋コンクリート箱だけの捻りの計算	"
4 7 1	関門橋設計施工調査報告書 下部構造に関する調査	基 礎
4 7 2	深層土採取及び土質試験報告書	"
4 7 3	自動車の衝突時の減速度と損害の関係	道 路

4 年報（昭和43年度版）

所 報 原 稿 提 出 予 定

土木研究所報告原稿提出予定表

提出 予定期日	論文名	研究室名	著者名	頁数
5月上旬	橋梁の耐震設計に関する研究(Ⅱ) —動的応答を考慮した修正震度 の長大吊橋の耐震設計への適用—	振動	栗林栄一	刷上り 25
6月上旬	橋梁の耐震設計に関する研究(Ⅲ) —実測による橋梁の地震応答—	"	栗林栄一 岩崎敏男	
下旬	地下水検層法に関する実験的研究	地すべり	渡正亮 中村新一	
	工場群からの排水と家庭下水との共 同処理に関する研究(3)	下水道	柏谷衛 小堀和夫	
	有料駐車場の利用者実態に関する研 究	道路	小川裕章 池田勝美	
	堰堤放水管に関する研究(7)	篠崎	中野昭 (現大分工専助教授)	原稿用紙 130枚 表12 図21
7月上旬	橋梁の耐震設計に関する研究(Ⅳ) —地震応答スペクトル、1964による 三径間吊橋の地震応答解析その1—	振動	栗林栄一 岩崎敏男 小山田欣裕	
	擁壁の自動設計	技術管理	中村慶一 富田秋部 帆見侃	30

提出 予定期日	論文名	研究室名	著者名	頁数
7月下旬	路面の地すべり抵抗に関する研究 —雷氷路面について—	道路部	市原 薫	30
	逆循環水式掘削機に適用する気泡ポンプに関する研究	機械	千田 昌平	20
	ロータリー除雪車の性能について	"	田中 康之 長田 忠良	25
8月上旬	橋梁の耐震設計に関する研究(V) —橋梁の振動性状に関する実験的研究—	振動	栗林 栄一 岩崎 敏男	
下旬	東京湾口およびその周辺の地質	地質	小島 圭二	30
	有明海締切堤防調査報告		有明海締切堤防調査連絡協議会	80
	ケーソン基礎の安定に関する実験的研究	基礎	吉田 茂 足立 義雄	
9月下旬	トンネルの湧水推定法に関する研究	地質	菅原 捷	30
	橋脚周辺の洗掘に関する研究	河川	土屋 昭彦 石崎 勝義 本間 勝一	
	ダム群による洪水調節方式の検討	水文	青木 佑久	
	浅海部における潮流の一計算法	海岸	富永 正照 佐久間 襄	10

提出 予定期日	論文名	研究室名	著者名	頁数
9月下旬	空隙を持つ構造物内の波の変形	海岸	富永正照 坂本忠彦	10
	強混合型感潮河川汚濁計算法について —テームズ方式の適用性の検討—	下水道	村上健	60
	都市排水計画の合理化に関する研究	"	稲場紀久雄 横尾将位	60
	道路トンネルの換気に関する実験的研究	トンネル	伊吹山四郎 伊達英夫 今田徹	120 (400字×) 670枚
	箱桁補剛吊橋の耐震安定性 ON THE AERODYNAMIC STABILITY OF A BOX- STIFFENED SUSPENSION BRIDGE	構造	大久保忠良 成田信之	
	盛土の圧縮沈下について その1 —大型試験盛土の圧縮沈下—	施工	伊勢田哲也 渡部務 島津晃臣	300字 (×) 250枚
9月下旬	交通体系から見た都市の発展過程	道路	松浦義満 渋谷光男	20
	P・O単綫T桁橋の自動設計とその 問題点	技術管理	中村慶一 岩松幸雄 工藤真之助	50

研究室保管の映画・スライド

研究室名	題 名	内 容	フィルム種別		上 映 時 間	製 作 年 月 日
			色	サイズ		
化 学	水分計、密度計 による現場測定	土の密度、水分 の測定状況、海 底ボーリングの 密度検層		スライド	約 20枚 20枚	} 昭和35年～36年
コンクリート	コンクリート構 造物一般		カラー	スライド	} 約100枚	
"	コンクリートの 施工状況特に舗 装工事		カラー	"		
"	コンクリート構 造物の損傷状況		カラー	"		
"	コンクリート試 験法		カラー	"		
河 川	新潟地震災害記 録		カラー	スライド	80枚	昭和39年6月20日 ～27日
"	神戸災害記録		カラー	スライド	60枚	昭和42年8月22、 23日
"	集中豪雨による 新潟災害		カラー	スライド	100枚	昭和42年9月2、 3日
"	橋脚周辺洗掘実 験		カラー	スライド	7枚	昭和43年
"	水制洗掘実験		カラー	スライド	7枚	昭和43年10月
"	流砂観測(利根 川)		カラー	スライド	30枚	昭和42年5月～10月
"	水文観測機器 説明集		カラー	スライド	70枚	昭和43年5月
海 岸	関谷分水路模型 実験		カラー	スライド	8枚	
"	津波のそ上状況 および実験装置		カラー	スライド	20枚	

研究室名	題 名	内 容	フィルムの種別		上 映 時 間	製 作 年 月 日
			色	サイズ		
海 岸	砂の移動機構に関する実験装置および水槽		カラー	スライド	15枚	
	堤防の越波に関する実験		白 黒	スライド	40枚	
地すべり	地すべり模型試験	地すべりの実験 (NHK製作)	白 黒	16 mm	20分	昭和39年
ダム構造	断層を有する基岩岩盤の二次元模型実験	断層位置の変化、プラグ挿入の場合	カラー	スライド		昭和43年9月
"	アーチダム三次元模型実験	豊平映ダム、川保ダム	"	"		昭和44年4月
"	デジタルひずみ測定器及びその設備	デジタルひずみ測定器、絡板配線	"	"		昭和44年4月
トンネル	人工なだれ実験	昭和41年度実施した妙高人工なだれ実験の記録	カラー	16 mm	25分	昭和42年6月
"	なだれ制御砲の実験	なだれの遠隔制御のために開発した砲の実射実験記録	カラー	16 mm	25分	
"	"	同 上	カラー	8 mm	20分	
"	ニツ小屋トンネル地山透水性能調査	薬液注入実験の予備調査として、福島県ニツ小屋トンネルで実施した地山への注水試験	カラー 白 黒	8 mm	約 30分	昭和43年12月
"	トンネル防水剤性能試験	各種の塗布式防水剤の止水性能試験 (室内実験)	カラー	8 mm	約 30分	昭和44年3月

研究室名	題 名	内 容	フィルムの種類		上 映 時 間	製 作 年 月 日
			色	サイズ		
トンネル	トンネル防水剤 性能試験	各種の塗布式防 水剤の止水性能 試験(室内実験)	カラー	スライド	20枚	44年3月
"	覆工背面への注 入実験	福島県二つ小屋 トンネルで実施 した、発泡モル タルによる裏込 注入実験	カラー	スライド	約50枚	43年11月
"	トンネル支保工 載筒試験		カラー	スライド	15枚	44年3月
"	トンネル工事写 真	三 国道の諸ト ンネル工事	"	"	15枚	"
	土砂堤の越流実 験	河川堤防におい て越流時に堤体 土砂の崩壊を少 しでも防ぐ為合 成布を堤体内部 に埋め越流受け けんを行なつた ものである	カラー	16 mm	20分	42年10月
	悪路にいでむ	人工降雨による 路床路盤の異な る砂利道の損傷 比較実験を行な つたものである	カラー	16 mm	25分	44年4月
施 工	関東ローム試 験盛土の施工 と観測	盛土の圧縮沈下 の調査のために 計画した関東ロ ーム試験盛土の 施工と埋設した 観測計器の紹介	カラー	スライド 35 mm	30枚	41年11月
基 礎	ロータリーフォ イルサンプラー	フオイルチープ 換填から資料採 取まで	カラー	8 mm	20分	42年8月
	"	"	"	スライド	20枚	"

研究室名	題 名	内 容	フィルムの種類		上 映 時 間	製 作 年 月 日
			色	サイズ		
振 動	震 害 調 査	北美濃地震 (S36) 新潟地震 (S39) 十勝沖地震 (S43)	カラー	スライド	枚数 8 315 229	
	◇ 実験施設(室内実験)	吊橋実験関係 起振機 その他	◇	〃	40 4	
	◇ 振動実験(現場)	三国大橋 新橋川大橋 新大宮橋 新葛飾橋 鳥井大橋 底沢橋	◇	〃	10 13 34 29 13 25	
	◇ 強震計設置構造物	地 盤 上 橋 脚 上	◇	〃	16 15	
	◇ 現 地 調 査	有明海締切堤防調査 第2閘門調査	◇	〃	36 19	
	◇ 研 究 資 料	吊橋振動実験資料 新潟地震関係資料 橋梁の振動特性 松代地震落合橋関係 その他	◇	〃	28 46 3 41 17	
	◇ 新葛飾橋振動実験	橋脚振動実験	〃	8 mm	約3分	昭和38年7月
新 潟	動く大地	地すべり地の歴史 と生活 地すべりによる被害 地すべりのメカニズム 防止工法	白黒	16 mm	30分	昭和40年
	◇ 新潟県西頸城郡小泊地すべり	地すべり直後の状況	カラー	8 mm	15分	昭和38年3月

研究室名	題 名	内 容	フィルムの種類		上 映 時 間	製 作 年 月 日
			色	サイズ		
新 潟	ライナープレート式集水井 施工試験	施工の実状	カラー	8 mm	15分	昭和37年~38年
"	松の山地すべり	地すべりの現場 状況 地すべり調査の 実況	白 黒	8 mm	15分	昭和38年

研究室名	題 名	内 容 製 作	フィルムの種類		上 映 時 間	製 作 年 月 日
			色	サイズ		
企 画 室	若戸橋建設記録	(N1. 1巻)日本道路公団 RKB映画社	白 黒	16 mm	30分	
◇	◇	(N2. 2巻) ◇	◇	◇	◇	
◇	◇	(N3. 3巻) ◇	◇	◇	◇	
◇	合成桁橋実験	1 巻 橋 架 研 日 本 鋼 管	カラー	◇	20分	昭和36年10月 11日 12日
◇	平行線ケーブル 架設試験	1 巻 企 画 室 機 械 研	◇	◇	18分	昭和41年
◇	世界最長のつり 橋	1 巻 N H K 村 上 所 長	白 黒	◇	30分	昭和41年
◇	崩れる富士	1 巻 N H K	◇	◇	16分	昭和42年
◇	妙高人工なだれ 実験の記録	1 巻 企 画 室 トンネル研究室	カラー	◇	20分	昭和41年
◇	雪氷路面のすべり	1 巻 企 画 室 道 路 研	◇	◇	20分	昭和43年
◇	あすをきづく 海にかける橋	1 巻 N H K	白 黒	◇	20分	昭和43年4月 5日
◇	堤防の越流実験	1 巻 企 画 室 土 質 研	カラー	◇	20分	昭和44年1月 27日
◇	土木研究所概要	土木研究所	スライド	54枚		

昭和43年度物品購入

昭和 43 度

物 品 購 入 総 括 表

予 算 科 目	件 数	金 額	規 模 別	件 数	金 額
一 般 合 計	12	33,108,000	180万円以上	13	46,455,000
治 水 特 会	4	4,370,000	100万円以上 180万円未満	9	11,604,000
道 路 特 会	23	32,970,900	50万円以上 100万円未満	16	11,914,900
			50万円以下	1	475,000
合 計	39	70,448,900	合 計	39	70,448,900

種 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
本 所 購 入 物 品 千 葉	地 質 研 究 室	データレコーダ	道 路 調 査	2,190,000	日 本 計 装
	化 学 研 究 室	R I実験施設除湿装置設置	部 費	980,000	大 西 熱 学
		フラスコ脆化点試験機	道 路 調 査	900,000	日 新 化 学
		低温伸度試験機	道 路 調 査	710,000	日 新 化 学
		水分計	道 路 調 査	885,000	日 製 産 業
	コンクリート研 究室	データレコーダ	部 費	2,480,000	アンベックス
		オシログラフ歪測器	道 路 調 査	936,000	三 栄 測 器
	技 術 管 理 室	マイクロによるデータ通信 装置	部 費	3,000,000	東 芝 電 気
	道 路 研 究 室	速隔操縦実験車制御信号伝 送部	道 路 調 査	3,100,000	日 本 計 装
		路面粗さ測定機	道 路 調 査	1,100,000	坂 田 電 機
		ストレイン自動測定記録装 置	道 路 調 査	1,350,000	タケダ理研工業
	舶 装 研 究 室	ひびわれメーター試作	道 路 調 査	575,000	三 光 精 密 工 学
	ト ン ネル 研 究 室	道重自動測定用付属装置一 一	道 路 調 査	1,260,000	共 和 電 業
		微風速計 (3 台)	道 路 調 査	780,000	日 本 科 学 工 業
		ガス分析計 (CO 計)	部 費	690,000	日 製 産 業
		ガス分析計 (NO 及 NO ₂ 計)	部 費	3,300,000	日 製 産 業
		ガス分析計 (CO 計)	部 費	2,000,000	日 製 産 業

種 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
赤羽	土 質 研 究 室	加速度形変換器	道 路 調 査	582,900	山 本 扛 重 機
	構 造 研 究 室	熱線風速計 (微風)	道 路 調 査	520,000	日 本 科 学 工 業
		ビデオアナライザー	道 路 調 査	2,050,000	浜 松 テ レ ビ
		デジタルボルトメータ	道 路 調 査	589,000	太 陽 社
		アナログ型設気テープコーダ	部 費	3,340,000	テ イ ア ッ ク
		動 歪 計	道 路 調 査	799,000	三 栄 測 器
		風洞設計変更分	道 路 調 査	1,250,000	大 正 建 設
		ビデオアナライザー	道 路 調 査	2,050,000	浜 松 テ レ ビ
		スクラッチレコーダー	道 路 調 査	475,000	太 陽 社
	橋 梁 研 究 室	インプットスキャナー	部 費	3,200,000	太 陽 社
		ホイスト	道 路 調 査	1,105,000	八 州 電 機
	基 礎 研 究 室	自動歪測定記録装置一式	道 路 調 査	6,595,000	太 陽 社
		差動トランス変換増幅器	道 路 調 査	1,950,000	坂 田 電 機
	振 動 研 究 室	高感度変位計	道 路 調 査	1,219,000	計 測 技 研
	河 川 研 究 室	データ交換処理装置	部 費	11,200,000	日 本 電 子
		チョツパーアンプ装置	河 川 調 査	1,550,000	日 本 電 子
	水 文 研 究 室	デジタル集中記録装置増設	部 費	538,000	桑 野 電 機
		レーダ雨量計エコサンプリング装置	部 費	1,600,000	桑 野 電 機
		自動記録水位計外2点	河 川 調 査	900,000	中 浅 測 器

種類	研究室名	件名	予算(目)	金額	請負業者
鹿島	下水道研究室	水質試験車	部 費	780,000	東京日産自販
		河口砂州用二次元水路	河川調査	750,000	飯島建設
		屋根付防風柵	河川調査	1,170,000	飯島建設

昭和43年度請負工事および業務委託実施一覧

昭和 42 年 度

請負工事及業務委託総括表

表1 予算別

予算科目	工事種別 件数 金額 契約別	業務委託		請負工事		小計	
		件数	委託金額	件数	委託金額	件数	金額
一般会計	本所	1	810,000	21	6,426,000	22	1,236,000
	千葉	3	5,630,000	6	11,580,000	9	1,721,000
	赤羽	5	3,590,000	16	21,006,000	21	24,596,000
	計	9	10,030,000	43	39,012,000	52	49,042,000
治水特会	本所	0	0	2	71,000	2	71,000
	千葉	0	0	0	0	0	0
	赤羽	29	38,054,414	13	34,245,414	42	72,299,828
	計	29	38,054,414	15	34,955,414	44	73,009,828
道路特会	本所	5	3,806,020	8	3,035,000	13	6,841,020
	千葉	4	10,570,000	17	67,735,000	21	78,305,000
	赤羽	0	0	0	0	0	0
	計	9	14,376,020	25	70,770,000	34	85,146,020
合計		47	62,460,434	83	144,737,414	130	207,197,848

表2 規模別

委託 請負規模	工務 契約別	件数	金額	業務委託		請負工事		小計	
				件数	金額	件数	金額	件数	金額
300万円以上	本所	0	0	0	0	0	0	0	0
	千葉	2	7,000,000	11	63,223,000	13	70,223,000		
	赤羽	1	4,689,645	6	31,093,570	7	35,783,215		
	計	3	11,689,645	17	94,316,570	20	106,006,215		
150万円以上 300万円未満	本所	1	1,665,000	0	0	1	1,665,000		
	千葉	4	8,000,000	5	10,972,000	9	18,972,000		
	赤羽	8	17,413,169	4	8,898,000	12	26,311,169		
	計	13	27,078,169	9	19,870,000	22	46,948,169		
50万円以上 150万円未満	本所	4	2,791,020	5	4,030,000	9	6,821,020		
	千葉	1	1,200,000	4	4,240,000	5	5,440,000		
	赤羽	20	17,441,600	11	12,308,000	31	29,749,600		
	計	25	21,432,620	20	20,578,000	45	42,010,620		
50万円未満	本所	1	160,000	26	6,141,000	27	6,301,000		
	千葉	0	0	3	880,000	3	880,000		
	赤羽	5	2,100,000	8	2,951,844	13	5,051,844		
	計	6	2,260,000	37	9,972,844	43	12,232,844		
本所		6	4,616,020	31	10,171,000	37	14,787,020		
千葉		11	16,200,000	23	79,315,000	34	95,515,000		
赤羽		30	41,644,414	29	55,251,414	59	96,895,828		
合計		47	62,460,434	83	144,737,414	130	207,197,848		

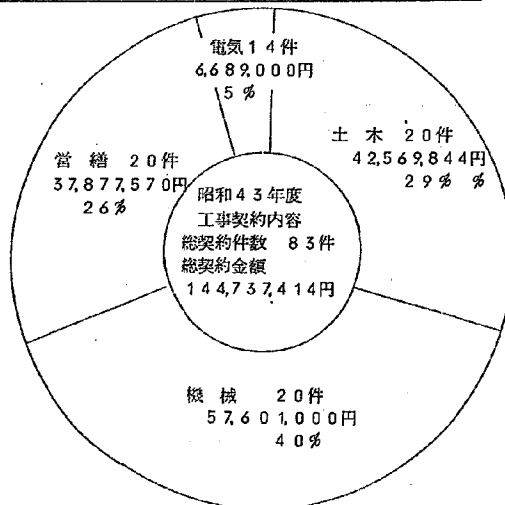
昭和43年度工事契約内容

① 会計別工事内容

会 計	件 数	契 約 金 額 円
一 般 会 計	43	39,012,000
治 水 特 別 会 計	15	34,955,414
道 路 整 備 特 別 会 計	25	70,770,000
合 計	83	144,737,414

② 業務別工事内容

	件 数	契 約 金 額 円
土 木	20	42,569,844
機 械	29	57,601,000
電 気	14	6,689,000
管 繕	20	37,877,570
合 計	83	144,737,414



補 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	契約金額	請負業者
工 事 一 般	鹿 島 試 験 所	密度流大型実験施設製作工事 (変更)	試 験 研 究 費	6,030,000	8.18-11.15 三友機械(KK)
		高水槽塩水槽製作並びに設置 工事	試 験 研 究 費	1,300,000	8.18-11.15 "
		淀川模型製作工事	直轄河川改修費	6,950,000	8.27-11.16 飯島建設KK
		同上用配管工事	直轄河川改修費	5,760,000	102-1215 (KK)保建設
		淀川模型防風柵工事	直轄河川改修費	3,400,000	1.224-1.27 飯島建設KK
		淀川模型附近整地工事	直轄河川改修費	1,070,000	3.4-3.28 飯島建設KK
		淀川抽出模型製作工事	直轄河川改修費	4,150,000	2.9-3.30 飯島建設KK
	篠 崎 試 験 所	鈴鹿川模型製作工事	直轄河川改修費	1,180,000	125-315 相互建設工業
		ダム水溜実験場上屋新築及び その他工事	河川総合開発 事業 費	4,803,570	821-1118 (KK)南組
		工作場及び詰所間仕切工事	各 所 修 繕 費	3,650,000	828-911 増子建設KK
		下釜ダム放水管模型製作	筑後川松原下釜 ダム 建設 費	3,035,700	1228-220 日本建設KK
		篠崎独身寮浴室補修工事	各 所 修 繕 費	440,000	1212-110 増子建設KK
		江戸川三郷模型製作工事	直轄河川改修費	7,300,000	2.9-3.30 相互建設工業
		下土師ダム放水管模型製作工 事	江川下土師ダム 建 設 費	3,712,274	3.2-3.31 東京プラステ ック工業KK
		浄水装置設備工事	各 所 修 繕 費	2,300,000	825-1125 佐原建設KK
	ダ ム 構 造	豊平峡アーテダム石付模型製 作工事	石狩川豊平峡ダ ム 建 設 費	1,380,000	8.1-11.28 (KK)建設技研
		透水試験用電気模型製作	道路事業調査費	180,000	11.20-118 東京誠電気工 業KK
		地下水観測用ボーリング及び 計器設置工事	試 験 研 究 費	400,000	724-822 (KK)応用地質 調査事務所
	地 質				

種 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
道 路	化 学	ボーリング時トルク測定及物理検層準備工事	試 験 研 究 費	770,000	910 - 118 サンコーコンサル タント (KK)
		除湿装置	試 験 研 究 費	980,000	818 - 916 大西熱学工業所
		試験器用電源整備工事	道路事業調査費	240,000	1224 - 38 東京誠電気工業 KK
	コンクリート	鉄筋コンクリート試験桁製作	道路事業調査費	770,000	524 - 920 オリエンタル コンクリート(KK)
		冷却塔移設工事	道路事業調査費	300,000	1031 - 1119 (KK)富士冷凍設備 工業社
		旧食堂及びセメント倉庫改造工事	試 験 研 究 費	190,000	1128 - 1212 増子 建 設
	舗 装	恒温養生装置改造	道路事業調査費	170,000	524 - 622 (KK)大西熱学工業所
		曲げ破壊試験用RC供試桁製作	試 験 研 究 費	155,000	112 - 210 オリエンタル コンクリートKK
	道 道 路	ハイドロプレーニング室内実験装置製作工事	試 験 研 究 費	610,000	1226 - 223 三友機械KK
		実験電光表示盤製作	特別研究促進 調 整 費	2,180,000	
		電子計算機組織増設附帯工事	道路事業調査費	385,000	1119 - 1130 富士通フアコム KK
		電子計算機据付及データ処理装置給台工事	道路事業調査費	1,100,000	510 - 610 富士通フアコム KK
		連続透視図化線改造増設	特別研究促進 調 整 費	3,840,000	3.25 岩崎通信機(KK)
		自動車けん引式平坦度記録計	道路事業調査費	1,230,000	1224 - 124 八千代製作所
		恒温室改造工事	道路事業調査費	1,600,000	213 - 329 (KK)大西熱学工業所

種 類	研究室名	件 名	予 算 (円)	金 額	請 負 業 者
ト ン ネ ル 機 施 工 土 質 構 造 橋 梁 基 礎 耐 震 技 術 管 理 室 地 す べ り	機 械	沈埋工法実験施設新設工事	道路事業調査費	3,480,000	112 - 120 大正建設(KK)
		ピント試験機建屋新築工事	道路事業調査費	7,000,000	121 - 327 東京谷藤(KK)
		ピント試験機動力設備製作	道路事業調査費	2,840,000	122 - 325 (KK)加藤製作所
	施 工	大型杭壁実験用背面傾斜壁製作及び付帯工事	道路事業調査費	3,853,000	119 - 26 三友機械(KK)
		大型杭壁実験用載荷装置	道路事業調査費	2,400,000	1113 - 210 山本扛重機(KK)
	土 質	軟弱地盤実験槽製作工事	道路事業調査費	5,250,000	1224 - 324 八州建設(KK)
		振動圧密試験機製作	試 験 研 究 費	3,300,000	122 - 325 (KK)サム電子機械
	構 造	煙非定常空気力風洞設計製作据付工事	道路事業調査費	17,750,000	17 - 331 大正建設(KK)
		煙非定常空気力風洞機能並びに構造設計	道路事業調査費	4,000,000	129 - 329 三菱重工業
	橋 梁	橋造物繰返し試験用載荷フレーム製作	道路事業調査費	4,200,000	102 - 129 川田工業(KK)
	基 礎	自動観測用計測室新設工事	道路事業調査費	3,000,000	1130 - 310 大正建設(KK)
	耐 震	SM-AO型強固計の点検ならびに強震計管理台帳作成のための資材調査	道路事業調査費	1,952,000	1222 - 331 (KK)明石製作所
	技 術 管 理 室	冷却塔設備工事	道路事業調査費	880,000	112 - 312 (KK)大西熱学工業所
		電算室床張その他改装工事	道路事業調査費	277,000	125 - 213 (KK)土谷工務店
		電子計算機室ダクト工事	道路事業調査費	218,000	125 - 213 (KK)大西熱学工業所
	地 す べ り	地すべり対策抗試験工事	砂防事業調査費	377,000	724 - 822 地すべり対策技術KK

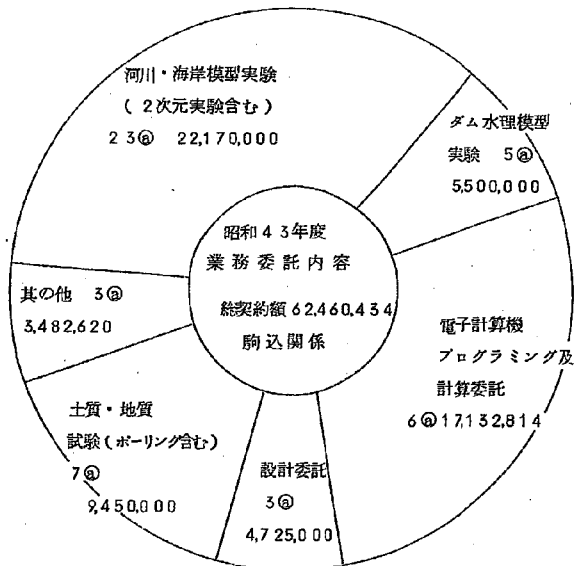
種 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
	合 計	平井保谷宿舍塗装工事	各 所 修 繕 費	95,000	127 - 1221 中部塗装KK
		篠崎独身浴室補修工事	各 所 修 繕 費	440,000	1212 - 110 増子建設KK
		食堂修繕に伴う換気装置取付	各 所 修 繕 費	106,000	76 - 712 三元建設工業 KK
		一階女子便所修繕工事	各 所 修 繕 費	77,000	629 - 719 (KK)土谷工務 店
		研究室その他塗装工事	各 所 修 繕 費	480,000	621 - 720 (KK)原田塗 装店
		食堂修繕工事	各 所 修 繕 費	435,000	67 - 71 (KK)土谷工務 店
		コンクリート研究室その他床 張替工事	各 所 修 繕 費	380,000	67 - 71 (KK)土谷工 務店
		篠崎試験所囲障設置工事	各 所 修 繕 費	132,000	515 - 524 増子建設KK
		講堂雨樋取替工事	各 所 修 繕 費	73,000	1127 - 1211 (KK)土谷工 務店
		屋上金網張替工事	各 所 修 繕 費	134,000	1120 - 128 (KK)篠科製 作所
	企 画 室	篠崎配線路整備工事	河川総合開発 事業調査費	630,000	222 - 324 誠電気(KK)
		低圧配電盤取替工事	試 験 研 究 費	440,000	130 - 330 中央電気KK
		極超短波多重無線電話装置改 造工事	試 験 研 究 費	365,000	514 - 62 神奈川電気KK
		実験用動力増強工事	試 験 研 究 費	395,000	1013 - 1126 大栄電設KK
		力率改善用コンデンサー取付 工事	河川総合開発 事業調査費	80,000	1224 - 122 東京誠電気工 業KK
		照明改良工事	試 験 研 究 費	129,000	24 - 223 日伸電気工業 KK

種 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
河 川	水 文	高圧接地継電器取り付け工事	試 験 研 究 費	50,000	614 - 714 東京誠電気工業 K K
		超短波無線電話装置修理その他工事	試 験 研 究 費	200,000	514 - 62 (KK) 中松商会
		計算機室整備工事	試 験 研 究 費	500,000	86 - 1126 (KK) 辻谷工務店
		空気調節装置	河川事業調査費	2,200,000	1013 - 1226 (KK) 大西熱学工業所
	砂 防	裏筑波小試験地水文観測設備設備工事	試 験 研 究 費	1,251,000	27 - 328 (合) 沼尻工務店
		給砂用循環装置	試 験 研 究 費	880,000	104 - 1122 (KK) 岸田建機研
	海 岸	2 6 番造波水路改造移設工事	試 験 研 究 費	920,000	716 - 829 (KK) 保科製作所
		大型造波装置減速機据付工事	海岸事業調査費	2,098,000	710 - 826 三友機械 (KK)
		小型造波水路製作工事	試 験 研 究 費	1,130,000	1121 - 23 (KK) 保科製作所
	下 水 道	2 次元水路及び平面造波水槽製作工事	試 験 研 究 費	280,000	101 - 1119 三友機械 (KK)
		恒温室整備工事	試 験 研 究 費	470,000	213 - 329 (KK) 大西熱学工業所
	新 潟	上水道浄化設備工事	各 所 修 繕 費	1,497,000	1012 - 1210 北栄建設 (KK)
	千 葉 庶 務	構内囲障一部改修工事	施 設 費	1,300,000	1219 - 218 (KK) 大野組
		千葉支所受電設備整備	試 験 研 究 費	350,000	104 - 1221 大栄電設 K K
		屋外実験施設用照明工事	道路事業調査費	145,000	112 - 1116 大栄電設 KK
	赤 羽 庶 務	第一水理実験補修工事	各 所 修 繕 費	1,200,000	1013 - 1126 (KK) 辻谷工務店
	鹿 島	高水増設置工事	施 設 費	345,000	321 - 330 辻 田 豊

43年度業務委託

会 計	件 数	契 約 金 額
一 般 会 計	9	10,030,000
治 水 特 別 会 計	29	38054,414
道路整備特別会計	9	14,376,020
合 計	47	62,460,434

	件 数	契 約 金 額
50万円未満	6	2,260,000
50万円以上100万円未満	18	12,656,020
100万円以上	23	47,544,414
合 計	47	62,460,434



種 類	研究機関名	件 名	予 算 (日)	金 額	請 負 業 者
業 務 委 託	下水道研究會	荒川および江戸川水質汚濁調査	江川事業調査費	1,274,600	829 - 930 早大理工学部研究所
	鹿 島 試 験 所	淀川模型製作の爲の設計資料作成	直轄河川改修費	565,000	613 - 72 (建設技術研究所)
		淀川消波工模型実験 (5)	直轄河川改修費	900,000	63 - 826 (建設技術研究所)
		河口砂州崩壊に関する二次元実験	河川事業調査費	750,000	724 - 911 (建設技術研究所)
		利根川間道計画に関する固定床模型実験(1)	直轄河川改修費	2,500,000	828 - 1026 (建設技術研究所)
		東播海岸陸岸堤模型実験 (2)	直轄河川改修費	1,300,000	928 - 1116 (建設技術研究所)
		淀川模型河床摩擦測定実験	直轄河川改修費	780,000	1020 - 128 (建設技術研究所)
		利根川河口比増水遊上に関する模型実験	委 託 研 究 費	420,000	112 - 121 (建設技術研究所)
		久慈川河口砂州崩壊に関する模型実験(3)	直轄河川改修費	660,000	1120 - 1224 (建設技術研究所)
		球磨川扇原地区床固めに関する模型実験(2)	直轄河川改修費	720,000	1219 - 127 (建設技術研究所)
		有明海締切後の淡水化に関する模型実験	海岸事業調査費	710,000	117 - 215 (建設技術研究所)
		利根川河口比増水遊上に関する模型実験(2)	実 託 研 究 費	450,000	112 - 210 (建設技術研究所)
		淀川河道計画模型実験 (1)	直轄河川改修費	2,400,000	122 - 317 (建設技術研究所)
		久慈川河口砂州崩壊に関する模型実験(4)	直轄河川改修費	550,000	112 - 215 (建設技術研究所)

種 類	研究室名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
		淀川模型波高反射測定実験	直轄河川改修費	820,000	29-330 ㈱建設技術研 究所
		河口開口部特性調査実験(1)	河川事業調査費	760,000	29-330 ㈱建設技術研 究所
		東播海岸崩岸堤模型実験(3)	直轄河川改修費	1,300,000	213-319 ㈱建設技術研 究所
		利根川湾曲部抽象模型に關する 実験(1)	直轄河川改修費	1,630,000	29-330 ㈱建設技術研 究所
		利根川河口堰極遊上に關する 模型実験(3)	受 託 研 究 費	660,000	㈱建設技術研 究所
		利根川移動床模型実験	直轄河川改修費	(620,000)	㈱建設技術研 究所
	篠崎試験所	吉野川第十壩模型実験	直轄河川改修費	860,000	730-107 ㈱建設技術研 究所
		大滝ダム水理模型実験	紀の川大滝ダム 建設費	1,100,000	730-1126 日本工営 ㈱
		関屋分水模型実験	直轄河川改修費	1,250,000	211-18 ㈱建設技術研 究所
		緑川ダム水理模型実験	緑川緑川ダム建 設費	1,660,000	103-130 ㈱建設技術研 究所
		下笠ダム放水管抽出模型実験	筑後川松原下笠 ダム建設費	510,000	1228-226 日本技術開発 (株)
		濁井川模型実験	受 託 研 究 費	1,350,000	131-331 ㈱建設技術研 究所
		関屋分水魚道模型実験	直轄河川改修費	480,000	131-31 ㈱建設技術研 究所
		石手川水理模型実験	重信川石手川ダ ム建設費	1,780,000	131-331 日本工営 ㈱
		鈴鹿川模型実験	直轄河川改修費	(300,000)	
		緑川ダムシル下流部水理模型 実験	緑川緑川ダム建 設費	450,000	㈱建設技術研 究所

種 類	研 究 所 名	件 名	予 算 (目)	金 額	請 負 業 者
	ダム構造研究室	有限要素法による2次元塑性体応力計算電算プログラミング	河川総合開発事業調査費	4,689,645	1120-329 日本IBM (株)
		「FEMによる応力計算(六角形自重図化)」電子計算プログラミング	九頭川真名川ダム建設費	1,787,344	111-331 日本IBM (株)
		有限要素法による応力計算(5次元弾性)電子計算プログラミング	仁淀川大渡ダム建設費	2,905,320	111-331 日本IBM (株)
		「直交異方性岩盤応力計算」電子計算プログラミング	河川総合開発事業調査費	2,750,505	131-331 日本IBM (株)
	地質研究室	浅海(沿岸部)の音波探査	道路事業調査費	535,000	74-82 日本海上工事(株)
		揚水試験法とJFT試験法との比較試験	道路事業調査費	1,665,000	1218-327 サコロコカント(株)
		昭和43年度東京湾ボーリングコアの地質分析	道路事業調査費	810,000	24-325 サコロコカント(株)
		昭和43年度富山海湾海岸侵蝕に関する礫の動態調査	試験研究費	810,000	29-330 サコロコカント(株)
	化学研究室	昭和43年度本州四国連絡橋塗料試験	道路事業調査費	636,020	522-228 石川島播磨重工業(株)
	土質研究室	現場揚水試験	海岸事業調査費	1,200,000	928-1111 東建地質調査(株)
		管理砂実験測定	受託研究費	1,850,000	103-130 八千代エンジニアリング
	構造研究室	煙非定常空気風洞機能および構造設計	道路事業調査費	4,000,000	129-329 三菱重工業 (株)
	基礎研究室	本州四国基礎模型水平載荷試験	道路事業調査費	1,570,000	1221-323 八千代エンジニアリング (株)
		首都高速道路公園小松川地区地質調査	受託研究費	2,580,000	121-331 梶谷調査工事
	振動研究室	電算プログラムS B Q R(L)-2拡張業務委託	道路事業調査費	3,000,000	87-1114 日本設計コンサルタント(株)
		吊橋地盤応答解析業務委託	道路事業調査費	2,000,000	219-331 日本建設コンサルタント(株)
	技術管理室	プレートガーター橋門扉設計製図委託	道路事業調査費	160,000	118-226 日本設計測量(株)